

地域医療機構 大阪病院 治験審査委員会 会議の記録の概要

開催日時	2016年4月19日(火) 14:30~15:30
開催場所	地域医療機構 大阪病院 第6会議室
出席委員名	畑中 信良、大黒 伸行、伊藤 敏文、寺川 晴彦、十川 恵子、田中 小百合、北 能演、魚澤 正克、内田 浩明、福永 万実子
議題及び審議結果を含む主な議論の概要(治験)	<p><b>【審議事項】</b></p> <p>議題1 キッセイ薬品工業株式会社の依頼による KLH-2109 の第II相臨床試験          当院にて治験を実施することの適否について審議した。          審議結果：承認</p> <p>議題2 シミック株式会社(治験国内管理人)の依頼による小児成長ホルモン分泌不全症を対象とした VRS-317 の第II/III相試験          被験者日誌マニュアルの改訂について審議した。          審議結果：承認</p> <p>議題3 ONO-2370 第II相試験 パーキンソン病患者に対する多施設共同プラセボ対照無作為化二重盲検並行群間比較試験、及び非盲検非対照長期継続投与試験          同意説明文書、被験者の健康被害の補償に関する文書の改訂について審議した。          審議結果：承認</p> <p>議題4 小野薬品工業株式会社の依頼による慢性心不全患者を対象とした ONO-1162 第III相試験          当該治験薬で発生した重篤な副作用に関する情報を入手したことを受け、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。          同意説明文書、被験者の健康被害の補償に関する文書の改訂について審議した。          審議結果：承認</p> <p>議題5 リウマチ患者を対象とした ASP015K 第III相試験          当該治験薬で発生した重篤な副作用に関する情報を入手したことを受け、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。          審議結果：承認</p> <p>議題6 日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社の依頼による COPD 患者を対象としたチオトロピウム+オロダテロールの COPD 増悪に対する効果を評価する第III相試験          当該治験薬で発生した重篤な副作用に関する情報を入手したことを受け、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。          審議結果：承認</p>

	<p>議題7 第一三共株式会社の依頼による DS-5565 第Ⅲ相国際共同試験 (PHN)      当該治験薬で発生した重篤な副作用に関する情報を入手したことを受け、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。      審議結果：承認</p> <p>議題8 武田薬品工業株式会社の依頼による潰瘍性大腸炎患者を対象とした MLN0002 の第3相試験      当該治験薬で発生した重篤な副作用に関する情報を入手したことを受け、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。      前回の継続審査より1年が経過するため、治験を継続して行うことの妥当性について審議した。      審議結果：承認</p> <p><b>【報告事項】</b>      以下の内容について報告された。</p> <p>議題1 日本製薬株式会社の依頼による門脈血栓症患者を対象とした NPB-06 の第Ⅲ相試験      治験の終了について報告した。</p> <p>議題2 わかもと製薬株式会社の依頼による非感染性ぶどう膜炎に伴う黄斑浮腫に対する WP-0508ST (ぶどう膜炎) 第Ⅲ相試験      実施体制変更等による治験実施計画書別紙の改訂について報告した。</p> <p>議題3 リウマチ患者を対象とした ASP015K 第Ⅲ相試験      実施体制変更等による治験実施計画書別紙の改訂について報告した。      実施体制変更等による治験実施計画書補遺の改訂について報告した。</p> <p>議題4 小野薬品工業株式会社の依頼による慢性心不全患者を対象とした ONO-1162 第Ⅲ相試験      実施体制変更等による治験実施計画書別冊の改訂について報告した。</p> <p>議題5 シミック株式会社 (治験国内管理人) の依頼による小児成長ホルモン分泌不全症を対象とした VRS-317 の第Ⅱ/Ⅲ相試験      実施体制変更等による治験実施計画書別紙の改訂について報告した。      実施体制変更等による治験実施計画書補遺の改訂について報告した。</p>
<p>議題及び審議結果を含む主な議論の概要 (臨床研究)</p>	<p><b>【審議事項】</b>          議題1 尿閉を生じた前立腺肥大症患者に対する <math>\alpha 1</math> ブロッカーの治療効果の比較          前回の継続審査より1年が経過するため、研究を継続して行うことの妥当性につ</p>

	いて審議した。 審議結果：承認
特記事項	なし
次回開催予定	2016年5月17日（火）午後2時30分